

申請・手続きの簡素化、広域化に向けた取組みの提案

～企業の声の活用による広域行政の深化～

1 関経連提言「コロナ禍を踏まえた分権・分散型社会の構築に向けて」(2020年11月)

関西広域連合の果たすべき役割として『総合行政としての機能強化』を挙げ、その一例として、構成府県市間で異なるルールや様式の統一を提案

2 関経連「地方分権・広域行政に関するアンケート調査」(2021年6～7月)

地方分権・広域行政に関するニーズについて、会員企業に対してアンケートを実施

【結果】 ビジネスしやすい環境の整備に関するニーズが高い

○自治体ごとに異なる申請書類の様式統一

○行政手続きの電子化・キャッシュレス化

その中でも、特にニーズが高い具体例

●道路の占有許可申請の様式統一・電子化

●保育所等入所に必要な就労証明の様式統一・電子化

●競争入札参加資格申請の様式・添付書類の統一・電子化

【提案】

高压ガスの事例に加え、上記の手続きについても、今後、各府県市の関係部局との検討の機会を設けるなど、様式の統一・電子化に向けた具体的な検討を進めていただきたい